

# 3種目総合3位

## Mr.グリーン号の故障響く

関東学生馬術

関東学生馬術大会が、6月26日から29日までJRA馬事公苑で行われ、専大は障害飛越で5位、総合馬術（調教・耐久・余力）で2位となり、3種目総合3位に終わった（馬場馬術は順位つかず）。

全員がイージーミスを出発し、まさかの5位に。雲行きの怪しいスタートとなった。

2日目の馬場馬術では、ミスターグリーン号は、森 裕悟（商2・関東第一高）が競技中に跛行（はこぎ）を審判に失権と判断され、団体の順位を得ることができなかった。3、4日目の総合馬術で挽回するが、3種目総合で昨年よりも一つ順位を落とす結果に終わった。

試合後、富沢健悟監督は「秋に向けてやるべき課題が見えた」と確信に満ちた顔で語り、「今回をきっかけに心機一転、

昨年優勝した全日本に臨んでほしい」と選手たちにエールを送った。

1・2年次主体のため「若さ」が出てしまった今大会。この苦い「経験」

を次に生かしてほしい。

（山室 綱寛・文3）



▶ ラストスパートをかける浅見恵一主将（撮影・山室）